

News Release



令和4年9月13日

各報道機関文教担当記者 殿

未来の科学の創成へ 令和5年4月、スマート創成科学類誕生！

このたび、金沢大学は文部科学省により、融合学域スマート創成科学類（学士課程・4年制）の令和5年4月設置が認められました。令和3年4月、文理融合型の新学域「融合学域」で「先端学類」を始動し、令和4年4月には第2の学類として「観光デザイン学類」を新設しました。さらに、第3の学類として、仮想と現実の融合を実装し、イノベーションの創成をリードする人材の養成を目的とした「スマート創成科学類」を設置します。

なお、入学定員は20名とします。

複雑化・多様化するさまざまな社会的課題を解決するためには、“イノベーションの創成をリードする中核的リーダー”となる人材が不可欠であり、スマート創成科学類では、文系・理系などの従来の枠組みにとらわれない、人文・社会・自然などの幅広い分野の学びを実現し、融合的な学知と他者との共創を通じて、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の養成を目指しています。

スマート創成科学類の概要および入試情報については別紙をご覧ください。

つきましては、取材・報道について、よろしく願いいたします。

<本件に関する照会先>

金沢大学融合系事務部 中山

Tel : 076-264-5910

E-mail : new-gakuiki@adm.kanazawa-u.ac.jp

<担当>

金沢大学広報室 奥野

Tel : 076-264-5024

金沢大学融合学域スマート創成科学類の概要

■設置時期：令和5年4月1日（学生受入れ）

■養成する人材像

地球規模で急速に起こっている社会の変容や技術の飛躍を的確に踏まえた上で、表出する多様な未来の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、仮想と現実の高度な融合を活用して、持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の養成を目指す。

■修業年限・学生定員・学位

- ・標準修業年限 4年
- ・授与学位 学士（学術）
- ・入学定員 20名
- ・編入学定員 3年次20名（令和7年4月）

■キーワード

文理融合（異分野融合）、イノベーション、アントレプレナー、スマート創成、未来の科学

■ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

未来の科学を創成するために必要となる多様な知見を身に付けた上で、その知見を活用した思考力・発想力・実践力を獲得する。その成果として、本学類が掲げる人材養成目標及び金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（学術）の学位を授与する。

- ・未来の科学を創成するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・スマート創成等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できるよう、課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程を編成する。

専門教育科目には以下の科目群を設ける。

- ・アントレプレナーシップを醸成し、社会展開に向けた発想力や実践力を獲得するために「実践科目」を設け、演習等を中心とした科目を配置する。
- ・知の飛躍に向けて必要となる科学技術の根幹と、未来課題に係る多面的な最新知見を修得するために「基盤科目」を設け、科目を配置する。
- ・未来課題の解決に資する知見を獲得するために「学知科目」を設け、さらに3つのコアエリアに区分し、多様な分野の科目を配置する。
- ・国際社会における最新の知見や他者との共創による新たな知見の獲得のために「鍛練科目」を設け、海外留学や国際インターンシップ、プロジェクト開発を行う演習等を中心とした科目を配置する。
- ・修得した多分野に渡る知見を基に課題発見・解決や事業創造を含めた社会展開を主体的・計画的に行うために「確立科目」を設け、手法や理論を体系的にまとめる科目を配置する。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できる資質を有し、次のような意欲ある入学者を求める。

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を連携・融合し、未来に資する新たな科学創成に挑戦したい人

■本学類の特徴

3 学域の知を結集した文理融合の課題発見型教育課程

融合学域では、人間社会系、理工系、医薬保健系から文理融合型の教育・研究に実績のある教員が結集し、偏りのない文理融合・課題発見型の教育課程を編成する。

<課題発見型教育課程の編成>

「スマートライフ」「スマート産業」「スマート社会」の3つのコアエリアに科目を配置し、それを並行学修することにより、未来に起こり得る社会的な変化を幅広く学んだ後、インターンシップ等の経験も踏まえ、経済社会課題の発見に努める。そして、一人一人異なる課題を解決に導くため、オーダーメイド型の履修指導を行い、「環境・社会」「人間・自然」の探求エリアのフィールドを往還的に学修（バックキャスト学修）しながら、自身が発見した課題解決の糸口を求め、様々な分野の最新の知見や技術を広く深く探求し、持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の養成を目指す教育課程である。

<Society 5.0 や STEAM 教育も重視した科目配置>

科学技術の基礎となる「数理・データサイエンス基礎及び演習」や、課題発見・解決のプロセスを学ぶ「デザイン思考」等を必修科目として配置している。さらに、「ロボットイノベーション」や「IoT 技術」等の Society 5.0 を重視した科目、「SDGs 基礎」、「マーケティング論」等の未来課題の解決に向けた様々な分野の科目を配置し、STEAM 教育も重視している。

<PBL 学修で社会との共創を学ぶ>

「産業 DX・PBL 演習」、「数理・データサイエンス・AI 実践」、「アントレプレナー演習」といった実践科目では、地域のニーズに応え、グループワークで多様な背景を持つ他者との共創を通じて課題探求を实践する。また、「地域×大学×産業」のシナジー効果を見据え、これからの地方創生を実装的に学ぶ。地域の特性を踏まえつつ、課題を多面的にとらえ、脱炭素社会における経済活性化や産業創出・振興、未来の科学などについて考える。スマート技術を活用し、農林水産業や、疾病・介護予防を含む次世代のヘルスケアについても学び、これらの集大成として、課題を自ら設定し、未来の科学の創成に取り組んでいく。

■入学者選抜

ダイバーシティ環境構築の一環として、次の「13種類」の学生募集を行う。

【入学定員：20名】

1. 一般選抜

○前期日程／文系傾斜	募集人員	文系傾斜6名
○前期日程／理系傾斜	募集人員	理系傾斜12名
○前期日程／文系一括	募集人員	スマート創成科学類へは1名
○前期日程／理系一括	募集人員	スマート創成科学類へは1名

2. 特別選抜

○KUGS特別入試／総合型選抜Ⅱ	募集人員	若干名
○KUGS特別入試／英語総合選抜Ⅱ	募集人員	若干名
○超然特別入試／A-lympiad選抜Ⅰ	募集人員	若干名
○超然特別入試／超然文学選抜	募集人員	若干名
○在外留学生推薦入試	募集人員	若干名
○社会人選抜	募集人員	若干名
○帰国生徒選抜	募集人員	若干名
○国際バカロレア入試	募集人員	若干名
○私費外国人留学生入試	募集人員	若干名

詳細は以下のURL、又は2次元バーコードから確認してください。

入学者選抜要項・学生募集要項（学域・学類）

金沢大学 Web サイト トップ→受験生→入試情報

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/boshuyoko>

■本学類Webサイト

融合学域 スマート創成科学類

金沢大学 Web サイト トップ→学域・学類・大学院等→融合学域

<https://innov.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

■本学入試情報スマホアプリ



融合学域

3学類の完成型

人文・社会・自然等の科学分野を往還し、融合的な学知と他者との共創を通じて、社会の各界で未踏のイノベーションの創成をリードする中核的リーダーへ

突破力
人間力
創出力

先見性
多様性
柔軟性



スマート創成科学

スマートライフ・スマート産業・スマート社会を見据え、
仮想と現実を融合するXR技術等を活用し、次代への未来科学を創成